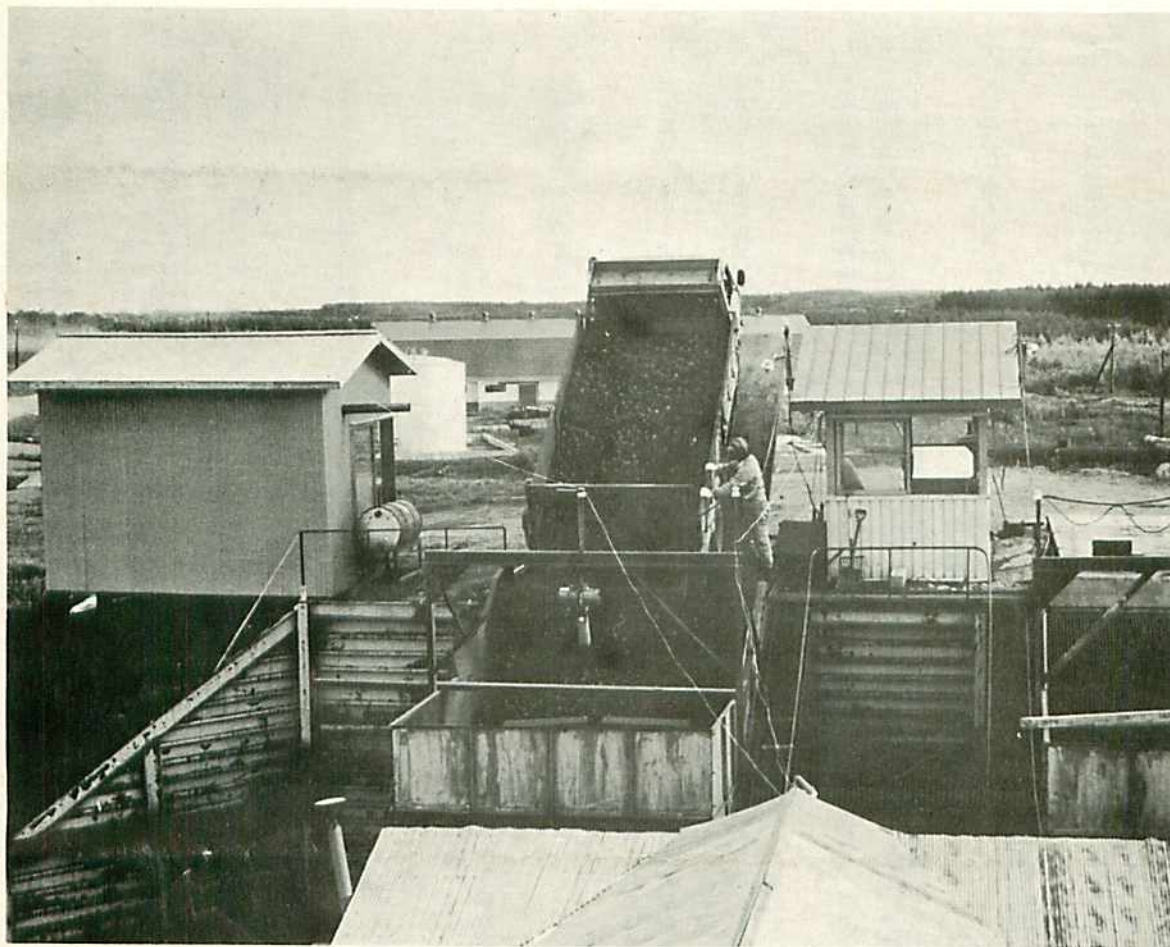


組合だより

発行所 中標津農業協同組合・中標津町農業共済組合
発行 昭和53年10月 第52号 印刷・アート印刷株式会社



合理化澱粉工場の受入

猛暑も過ぎ収穫の最中ですが飼料も畑作も順調喜ばしいことです。澱粉工場も九月十日から操業開始工場のメリットが還元されるよう高出荷を期待する次第。

経済は混んとしているが、ふとテレビドラマの「おていちゃん」を見ながら農協が設立された以降の戦後の時代をふりかえってみる。当時は食糧難そして物もなくこんな中で人々は希望を求め心に励みをもって頑張り抜いた。そして今は何でもあり過ぎる。何を食べても特別においしいと感じられないのでなろうか。随分ぜいたくになったと思う。こんなことを思い浮かべると現在は余りに世の中が騒然としている。平凡な生活は人それぞれによって受けとめ方が違いますが心の持ちようがやや忘れ過ぎるような感がある。協同活動三カ年運動を今年から進めつつあるが協同をすることによって得られるものそして農協らしさを今後どう求めてゆくか。この最終目標は心を大切に作る生活づくりでなからうか。農業も農協も新しい時代に入った。静かな心境から新しい方向づくりをみんなで考えたい。



理事会の経過

第六回理事会

八月三十一日開催

議 案

一、昭和五三年度土地改良事業の実施と一部変更について。

原案どうり決定

二、除雪機械の整備について。

原案どうり決定

三、就業規則第七〇条の表彰に基づく慰労休暇旅行の支給金について。

原案どうり決定

四、外部出資の増口について。

原案どうり決定

五、昭和五三年産濃粉の仮渡金について。

原案どうり決定

六、新酪による農機、車輛の整備工場について。

協 議 事 項

一、役員研修旅行について。

二、根室管内家畜市場の、本組合対応の協議について。

報 告 事 項

一、本年度の濃粉工場操業対策について。

二、第三回営農委員会の協議事項について。

三、馬鈴薯シスト線虫防疫対策について。

四、組合員の中間実績検討結果について。

五、七月末のクミカン状況について。

六、組合員戸別訪問の意見について。

七、仮決算の実施について。

八、職員による農業振興検討会議について。

九、北根室地区農業改良協議会の普及活動促進特別会費の負担金支出について。

十、農協経営定期点検の実施について。

十一、研修会の概要報告について。

研修会参加報告

企画管理課長 入 倉 英 夫

札幌の近郊の西野幌にある、農協学校で六日間の研修を受けてきました。

内容は答理専門コースで、一、協同組合の行動原理、二、財務・事務管理の要点、三、経営計画と農協経営、四、経営分析とその活用、五、共同研究、等でした。

道内の各農協から管理、財務担当職員が三十三名参加しました。実務の手順についての教科時間が多かったのですが、講義・共同研究の中からの印象深い言葉を書きます。

◎ 協同組合原則は何度でも勉強すべきである。

◎ 協同活動実践運動は、組合員主体の活動であり、「組合員に

よる運営」参加がなされていないければならないし、そうであつてこそ職員もその手足となつて「奉仕」できるのではないか。

◎ 組合員は組合に三面の性格を持つている。A、所有者（出資者）、B、利用者、C、経営者（賛、否の権利）ということで運営に積極的に参加するようにその「場」づくりをしなければならぬ。

◎ 民主主義による、「組合員の組合」。「組合員のための組合」。「組合員による組合」。

◎ 農協とは何だ（役割）「農協とは、農業の問題を解決する人の集まり、その集団である」。

昭和二十三年四月本組合が設立してから今年が三十年にあたりますのでこの記念式典を来る十一月二十八日町体育館にて盛大に執り行うことに決定しました。

農協創立30周年記念式典

中標津町体育館で

十一月

二十八日

実施に決定

昭和二十三年四月本組合が設立してから今年が三十年にあたりますのでこの記念式典を来る十一月二十八日町体育館にて盛大に執り行うことに決定しました。

是非加入しましょう

自賠責共済 自動車共済



協会の共済



「美人多し、よを見するな」

仕業点検が

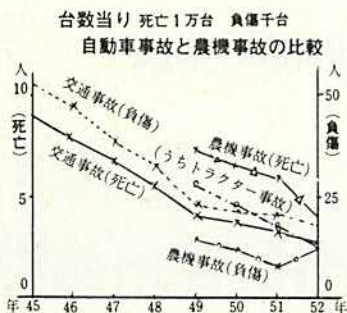
あなたを守る (1)

北海道農作業安全運動推進本部

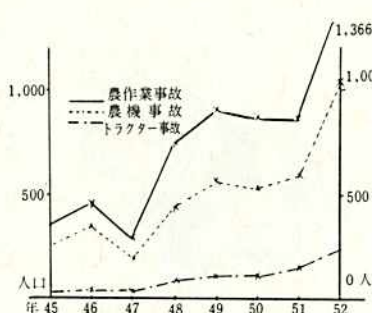
仕業点検指導指針
安全運動操作上の注意事項

1. 服装は作業に支障のないものを着用すること。
 2. 始業前の車輛点検は必ず励行すること。
 3. 無資格者には絶対運転させないこと。
 4. エンジンには必ず、ならし運転をすること。
 5. トラクターの発進には周囲を良く確認すること。
 6. 運転作業中は絶対子供を近づけないこと。
 7. 作業機の脱着に十分注意すること。
 8. 機械の性能以上の無理な作業をしないこと。
 9. 傾斜地作業は横転、横すべりに注意すること。
 10. 運転者以外は車輛に乗せないこと。
 11. 作業終了後は機械の清掃、整備に努めること。
 12. 作業終了後は工具類を点検すること。
 13. 油脂類は、慎重に取扱い火気に注意すること。
 14. 交通法規を遵守すること。
 15. 休養を十分にとること。
- 一、年々増加する農機事故
一時停滞傾向をみせた農作業事故も昨年再び増加した。しかし、

2. 農作業による死亡事故の大部分はトラクター事故
毎年農作業による死亡事故が起きているが、その大部分はトラクター事故である。



1. 交通事故よりも多い農機(トラクター)事故

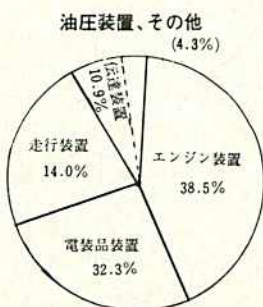


農機事故とトラクター事故は依然増加しています。



事故種別	トラクター	耕うん機	ハーベスター	その他	家畜	高所転落	その他
トラクター事故 (73.8%)	63	55	52	92	44.7	23.5	16.5
農機災害事故 (75.9%)					その他事故 (24.1%)		

エンジン装置と電装品装置で全故障数の七〇・八%を占めており点検、管理にあたっては、この部門を重点に実施することが必要です。



3. トラクター事故は農作業中よりも、移動中、が危険
畑から畑、家から畑への往復中といった移動中の転倒、転落事故が多い。
二、トラクターの故障はどこが多いか………
北海道農業開発公社と北海道農作業安全運動推進本部が毎年実施している、営農用機械点検診断によると、つぎのような結果が出ています。

北海道110年記念

第7回北海道 総合畜産共進会

北海道百年記念の第七回北海道総合畜産共進会が十五日から札幌市の道立産業共進会場で開催された乳用牛、肉用牛、馬、豚、メシ羊、二十六部門の審査に三日間をかける会場は全道からえりすぐった総勢四百六十頭の家畜が一堂に集まり参加者の家畜改良熱がみ

なぎり十七日各部の最高位を決めて幕を閉じた。

グランドチャンピオンには千歳市黒沢 勉氏のホワイトパーチ、アストロ、ラグ、アップル(種雄牛)乳用牛の根室管内一等入賞牛は次のとおり。

第三部(生後十六ヶ月以上二十ヶ月未満) メリースターローヤル・ホープ 計根別 二瓶征男

第五部(生後二四ヶ月以上三十ヶ月未満) プライトネス ファーロック プレスタージ

別海 小野寺進 ラブリーベネット ミストレス 別海 高橋清志 第六部(満二才以上三才未満)

ビーブ マドキャップ クロス コンケスト 別海 安部正

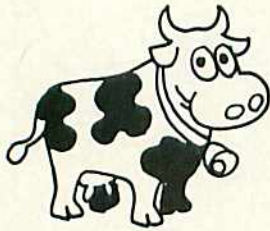
ダチエス ラグ アップル ブライド 別海 高村義彰 第七部(満三才以上四才未満) カウント

サリー ローマンデール パレード 別海 田中武義

乳用牛 第三部に出場の中標津農協、上ヶ島国雄氏所有ベネット サリー レディ 三等 馬の部 中間種 重種四才雌馬 武田儀栄氏所有、藤姫 二等三席

昭和53年度

アメリカ・カナダ 酪農視察旅程決まる



中標津農協青年部、中標津乳牛改良同志会が農業先進国、アメリカ、カナダの農業事情(酪農、畑作)と技術を研鑽し地域農業の恒久的安定を図るため海外研修を昭和五十三年より昭和五十七年までの五ヶ年間にわたり計画致しましたところ一五〇名の海外視察研修会員の結成が出来ました。昭和五十三年度(第一回)アメリカ、カナダ酪農視察の旅(参加者二十名)は下記の通り決まりました。

コースはカナダを中心とした本格的な視察ツアーであり、カナダの乳牛改良の現状と今後の方向を知り乳牛改良の方法を知っていたいただきます。またクォーター制(乳量の生産調整)などがあり、有名牝牛、種牡牛を中心とした視察スケジュールがあり、ますので経営に役立つ視察であると確信致しております。

海外研修運営委員会
酪農視察研修日程及び内容
11月5日~11月21日(17日間)
カナダ、ローヤルウインターフェア、カーチス人工授精所、エルムウッド、クレセント、グレイヴン、ニールセンエーカーズ、スチューワートハイブ、ダウナレイン、アグロエーカーズ、ハノーバーヒル、オーケリッジス、ボンドハイブ、サニーマイブル、グレナフ、ピックランド、スプリング、ラウントリー、ブランデール、シヨウ各農場。

「農業新聞」

購読料改訂について

当農協組合だより第五十一号(九月号)で参事より農業新聞の購読についてお願いをいたしました。が、十月一日より新聞代が値上がりすることになりました。

一般紙では製作費の高騰などから本年三月より購読料の一斉値上げを実施しましたが、新聞連では農協組織の機関紙としての使命か

記

- 一、購読料改訂時期十月一日より
- 二、一か月代金 一、六〇〇円
- (現行一、三五〇円)

ふるさと青年合同音楽

結婚式に斉藤一美君出席



北海タイムス社主催の食生活展・78フードフェアのメイン行事である「ふるさと青年合同音楽結婚式」が九月十四日、札幌市豊平区のウエディングプラザ平安閣で華やかに行われ、十三組のカップルに当農協管内から斉藤一美君、小林洋子さん（開陽）が出席祝福を受けた。

この催しは、本道の農村、漁村に優秀な後継者を育てようと、堂垣内北海道知事夫妻の媒妁による合同結婚式が実現して五回目。斉藤一美君、小林洋子さんは九月二十四日に結婚式をすることになっていましたが、根室支庁、農業委員会より推薦を受け、農協でお願いし十日早く結婚式をあげた。

知事媒妁による結婚式



一美君から洋子さんへ指輪を

一日貯金日近づく 期間10/17〜10/20

十月十七日は、国民皆貯金の日です。中標津農協でも例年のように、左記のとおり実施致しますのでよろしくお願ひします。

集金方法 近日中に貯金袋を組合員各戸に送付し、

期間中に職員が各戸訪問して集金します。

実施期間 十月十七日より十月二十日まで、四日間を差し上げます。尚、今年も参加者全員に参加賞

意識調査票

提出のご協力について

農業経営者の意識に関する調査について北海道立総合経済研究所より全戸に調査票が送付されています。

に考え改善しようとしているのかを解明するために、基礎資料を作成することを目的としています。調査票に記入の上、返信用封筒を用いて返送して下さい。

この調査は農業経営主が自己の農業経営及び農家生活をどのよう

当幌の開基55周年 酪農郷の繁栄を祝い

「開拓碑を建立」



開基 55 周年 記念 式 典

当幌の開基五十五周年記念式典と祝賀会が、当幌研修会館で行なわれた。
当幌地区は大正十三年に入植、他の地区と同様、昭和初年の冷害凶作にあったが、現在は乳量四千五百トンを突破する酪農地として栄えている。
式典に先立ち、同会館前に立てられた堂垣内北海道知事揮ごうに

よる開拓記念碑の除幕式が行なわれ、遠田勝君（西当幌）、阿部留美さん（当幌）の二人が紅白の綱を引いて幕をはずし、出席者から拍手がわいた。
式典では西山高蔵記念協賛会会長の式辞に続いて、物故者も含めた二十九人が功労者として表彰され、出席者たちは先人の労苦をしるべ、今日の繁栄を祝いあった。

畜産物相場表

53年9月10日現在

区	分	規 格	価 格 (kg 単価)	摘 要
初生統	加工向	枝肉	400	
	血清向	生体	-	
	哺育向	生体	650	
肉用素牛(ホル牡)		200~250 kg	550~500	
	"	251~300	560~570	
	"	301~350	570~580	
	"	351~400	580~590	
	"	400~	590	
	" (メス)	200~	580~600	
肥 育 牛	枝肉(中規格)		1,130	
	枝肉(中バ)		600~800	
肥 育 牛	枝肉(ガリ)			
初 妊 牛	血統登録		450千円中心	購売対象
	系 種		400千円中心	"

昭和四十五年にオープンした農協店舗も今年十月で九年目の歳月を迎える事になりました。
ご承知の通り取扱高につきましては順調なる伸率となっております。組合員の皆さん方のご理解あるご協力の賜と厚くお礼申し上げます。五十三年度もいよいよ十月ともなり寒さを感じる季節となりましたが例年実施しております開店記念大売出しと併行して野菜の特売会

を本年度も開催致します。
一般消費家庭からも期待されており本年も十月に更に盛大な特売会を開催する所存ですのでご期待下さる様ご案内致します。
尚、日程につきましては後日ご連絡申し上げます。
記
一、特売予定 十月下旬
二、場所 農協事務所前広場

農協店舗開店九周年 記念の野菜特売案内

昭和五十三年産

ビートの受入について

ホクレン中標津原料所

ビートの耕作につきましては種々ご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。

近年におけるビートの耕作は五十二年四八ヘクタール、五十一年五二ヘクタール、本年は六〇ヘクタールと年々増加しつつあります。ヘクタール当り収穫においても、根室管内では達成が難しいと思われていた平均収量四〇トン、を、当農協は二年連続達成という成果をあげております。

また個人の最高では五十一年は

収量が見込まれ史上最高になるであろうと思われま。

そのビートもいよいよ収穫の秋となり受入期も間近にせまりました。本年の受入れについては、例年同様トラックで畑から直接運ぶ方法により次のとおり実施することに決定をいたしました。収穫、中間推積に当っては先般お渡しした輸送計画に合わせ行おう特段のご協力をお願い申し上げます。

記

一 受入(輸送)開始月日

十月十六日

二 受入完了予定月日

十一月十五日

三 輸送方法 トラックによる直送

四 輸送業者

標茶町岡村産業株式会社

五 輸送連絡担当者 大久保和彦

十月から十一月前半にかけて天

気は周期的に変わり、一般に秋晴れの日が多い見込み。十一月後半には大陸の高気圧が強まって一時寒くなり、十二月は変動が大きく暖かい日もあるが、冬型の気圧配置が強まる期間もあり、西部や北部では雪が降りやすくなる。

月別予報は次の通り。

▼十月 移動性高気圧と気圧の谷が交互に通る、天気は周期的に変わるが、一般に秋晴れの日が多

馬鈴しょの貯蔵について

農産課

一般に掘取ったばかりのいもには、

- ① 表面に土砂や茎葉などが付着しており、その中に疫病菌を含めた雑菌がたくさん付いている。
- ② 傷いもや腐敗いもがあり保菌いもも混在する。
- ③ 収穫直後のいもは呼吸が盛んであり呼吸熱を排出している。(半日位で鎮静される)

以上ことから、掘取後はなるべく涼しい風通しの良い所に置いて呼吸熱を鎮静させよく乾かして雑菌の繁殖を抑える様に仮貯蔵をする。(多量ばら積上をして置くと

は日本海側で並、太平洋側では並かやや少ない。

▼十二月 一時移動性高気圧に覆われて暖かい日もあるが、冬型の気圧配置の日も多い見込みで、変動は大きい。特に後半は時々大陸の高気圧が強まり、寒気が吹き出す。日本海側では雪が降りやすく、太平洋側では晴天の日が多い見込み。平均気温は並かやや低く、降水量は日本海側で並かやや多く、太平洋側では並かやや少ない。

内部の温度が急上昇し、雑菌が繁殖して腐敗が急速に進むので絶対に避けなければならない)

屋外貯蔵をする場合、特に気を付けて排水の良い所で春先の雪溶け水の入らない場所を選び覆土は面倒でも二三回に分けて凍結しない様に覆ってゆく等細かい配慮が必要です。

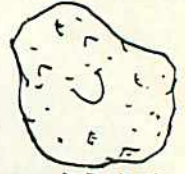
貯蔵庫に貯蔵する場合は、貯蔵庫の面積に応じてあまり高く積上げない様に天井との距離をとらなければならぬ。

馬鈴しょは約八〇%の含水率を持ち、貯蔵期間中は一トンにつき毎日少くとも〇・一kg程度の水分を蒸散しており換気が悪ければ天井や壁で冷却し結露現象が発生する。そして天井や壁が露点温度以下になると結露した水滴が滴り落ちていもを濡らす。これがカビの発生原因になりますので充分気を付ける様注意して下さい。

10月・11月・12月

天気予報

札幌管区气象台



馬鈴しょ 坪堀調査の結果

農産課

この坪堀は、毎年継続して行っているものですが、本年度は、六月以降の天候が幸いして、馬鈴しょの収量も昨年よりは、増収が見込まれそうです。

今回は、九月二日、九月十九日と坪堀を実施致しました。坪堀方法として農家を選定（豊岡一、東俵橋二、開陽一、東武佐一、南武佐一、北武佐二、計八戸）して行っていますが、その地域によって若干収量が異なる様に思われます。今回の坪堀結果については、別表のように、過去の坪堀と比較して五十一年度に次ぐ結果が出ています。

今後、農作業機等の使用にあたって事故のない様気を付けて作業にあたって下さい。

坪堀結果比較表(47年~53年)

紅丸

	47	48	49	50	51	52	53
俵数	45.5 俵	51.3 俵	50.6 俵	45.8 俵	59.9 俵	54.4 俵	59.0 俵
澱粉価	15.0 %	14.9 %	14.2 %	14.2 %	14.7 %	15.2 %	14.3 %

エニワ

	47	48	49	50	51	52	53
俵数	51.0 俵	50.2 俵	45.9 俵	33.6 俵	44.9 俵	48.9 俵	48.0 俵
澱粉価	18.0 %	16.1 %	17.0 %	17.1 %	16.4 %	16.6 %	16.1 %

※この結果は毎年9月18日~21日に実施した結果です。

成人病検診実施について

五十三年度成人病検診（ミニドック）の日程及び検診内容についてお知らせします。実施は十一月からですので十月中旬から町役場保健課で保健会中心に説明会を行います、農協で十月上旬に申込みを取りまとめをいたしますので受診される方は準備をしておいて下さい。

地区

二十八日（火）俣落地区

（西中含む）

二十九日（水）武佐全地区

区

三十日（木）開陽全地区

（北中含む）

■検診内容

尿検査（蛋白、糖）、結核検診

エヒノコックス症検査、血液検査（コレステロール）、心電図

尚、会場は会館を使用する予定。

時間等くわしくは十一月号組合だよりでお知らせ致します。

■日程

十一月六日（月）当親全地区

七日（火）豊岡、協和地区

（南中、共立、上中含む）

八日（水）俵橋全地区

二十七日（月）第二俣落

配合飼料価格見直しによる 再値下げについて(8月~12月)

配合飼料を取りまく情勢は国際情勢の変化と共に大きく変動しております。前回の値下げは七月より各社とも実施されましたが又更に外国為替相場並に諸条件の情報分析の結果好条件等が見られたため八月一日より再値下げが実施されました。

北海道全畜種平均トン当り

一四五〇円

三畜種別値下げ額トン当り

乳牛用 一、三〇〇円

肉牛用 二、五〇〇円

牛人口乳 据置き

牛離乳用 二、三〇〇円

右の価格改定実施期は八月一日から十一月三十一日迄の出荷分です

各社小売価格表は次の通り。

一期日八月一日出荷分より

二平均値下げ額

各社配合飼料価格表

昭和53年8月1日改定

品名	規格	飼料		田面格	品名	規格	合		田面格	品名	規格	合		田面格	品名	規格	合		田面格
		小売価格	田面格				小売価格	田面格				小売価格	田面格				小売価格	田面格	
乳牛 16号	20Kバテ	970	1,016	1,025	ピーフ前期(生)	20K袋入	1,025	1,075	1,110	ヨーデルエース(P)	20K袋入	1,089	1,135	ヨーデルエース(P)	20K袋入	1,089	1,135	1,085	1,130
ニューフレーク13号(生)	"	969	1,015	1,005	ピーフ後期(P)	"	1,005	1,055	1,090	ミルキーA	"	4,110	4,110	ミルキーB(P)	"	2,290	2,290	1,070	1,110
" 16号	"	990	1,036	1,010	ニューミルワードA	"	4,175	4,175	1,070	ヨーフトン肥育用	"	1,131	1,175	ヨーフトン仕上用	"	991	1,055	1,088	1,140
" 18号	"	1,024	1,070	1,544	ミルワードB	"	1,544	1,590	1,095	ヨーフトンチンピオン	"	1,088	1,110	ヨーフトンチンピオン	"	1,088	1,110	1,056	1,110
特配 18号	"	1,004	1,050	1,170	育ヌウ前期	"	1,170	1,220	1,005	若牛用	"	1,105	1,165	成ケイヌウー	"	1,100	1,155	1,100	1,155
" 20号	"	1,034	1,090	1,015	育ヌウ後期	"	1,015	1,065	1,090	肉牛肥育用	"	1,040	1,070	成ケイヌウー	"	1,040	1,070	4,230	4,230
幼牛 育生(P)	"	994	1,040	1,046	(M)育ヌウ用	"	1,046	1,095	1,070	肉牛肥育用	"	1,020	1,070	成ケイヌウー	"	1,020	1,070	4,170	4,170
若牛 育生	"	924	970	1,096	16号Sフツク	"	1,096	1,140	4,170	ネオカーフミルク	"	4,230	4,230	成ケイヌウー	"	4,230	4,230	4,170	4,170
ピーフ前期	"	980	1,030	1,830	17号	"	1,830	1,880	1,615	カーフミルク	"	1,569	1,615	成ケイヌウー	"	1,569	1,615	2,295	2,295
" (生)	"	985	1,035	1,161	ピグイエースA	"	1,161	1,205	2,295	カーフミルク	"	2,295	2,295	成ケイヌウー	"	2,295	2,295	1,085	1,115
ピーフ後期(P)	"	965	1,015	1,026	ピグイエースB	"	1,026	1,090	1,115	カーフミルク	"	1,099	1,115	成ケイヌウー	"	1,099	1,115	1,085	1,115
" (生)	"	970	1,020	1,096	ピグイエースC	"	1,096	1,150	1,115	カーフミルク	"	1,055	1,115	成ケイヌウー	"	1,055	1,115	1,085	1,115
16号Sフツク	"	1,006	1,060	1,150	雪	20K袋入	1,150	1,150	1,115	ヨーデル16号	20K袋入	1,064	1,110	ヨーデル16号	20K袋入	1,064	1,110	1,064	1,110
ニューズ12号(生)	"	934	990	1,025	雪	"	1,025	1,080	1,035	" 16号(P)	"	989	1,035	" 16号(P)	"	989	1,035	1,035	1,080
" 15号	"	979	1,025	1,117	雪	20K袋入	1,117	1,163	1,095	" 20号(P)	"	1,029	1,075	" 20号(P)	"	1,029	1,075	1,029	1,075
" 18号	"	1,006	1,052	1,034	雪	"	1,034	1,080	1,095	ヨーデルチックス	"	1,049	1,095	ヨーデルチックス	"	1,049	1,095	1,095	1,110
乳牛 16号	20K袋入	1,014	1,060	1,004	雪	18号	1,004	1,050	1,110	ヨーデルチックス	20号(P)	964	1,110	ヨーデルチックス	20号(P)	964	1,110	1,010	1,110
ニューフレーク13号(生)	"	1,009	1,055	1,016	雪	18号	1,016	1,060	1,110	ヨーデルチックス	20号(P)	984	1,110	ヨーデルチックス	20号(P)	984	1,110	1,030	1,130
" 16号	"	1,034	1,080	1,024	スノウフレーク	18号	1,024	1,070	1,080	ヨーデルチックス	20号(P)	1,034	1,080	ヨーデルチックス	20号(P)	1,034	1,080	1,034	1,080
" 18号	"	1,064	1,110	1,035	"	16号	1,035	1,080	1,080	ヨーデルチックス	20号(P)	1,034	1,080	ヨーデルチックス	20号(P)	1,034	1,080	1,034	1,080
ニューズ12号(生)	"	1,044	1,090	1,035	"	14号	1,035	1,080	1,080	成ケイヌウー	"	1,060	1,110	成ケイヌウー	"	1,060	1,110	1,034	1,080
" 20号	"	1,079	1,125	1,055	コーカロフレーク	"	1,055	1,100	1,110	成ケイヌウー	20号(P)	1,024	1,070	成ケイヌウー	20号(P)	1,024	1,070	1,034	1,080
ニューズ12号(生)	"	974	1,020	1,039	子牛用	"	1,039	1,085	1,070	成ケイヌウー	16号(P)	1,044	1,090	成ケイヌウー	16号(P)	1,044	1,090	1,034	1,080
" 15号	"	1,024	1,070	916	若牛用	"	916	962	1,090	成ケイヌウー	20号(P)	1,084	1,130	成ケイヌウー	20号(P)	1,084	1,130	1,034	1,080
" 18号	"	1,049	1,095	1,000	肉牛育生用	"	1,000	1,050	1,090	成ケイヌウー	20号(P)	1,109	1,155	成ケイヌウー	20号(P)	1,109	1,155	1,034	1,080
幼牛 育生(P)	"	1,039	1,085	980	肉牛肥育用	"	980	1,030	1,090	成ケイヌウー	20号(P)	1,105	1,165	成ケイヌウー	20号(P)	1,105	1,165	1,034	1,080
若牛 育生	"	964	1,010	1,159	雪	20K袋入	1,159	1,205	1,065	ヨーデルチックス	"	1,019	1,065	ヨーデルチックス	"	1,019	1,065	1,034	1,080
カーフミルク	"	1,005	1,055	1,074	雪	"	1,074	1,120	1,065	ヨーデルチックス	20号(P)	1,039	1,085	ヨーデルチックス	20号(P)	1,039	1,085	1,034	1,080
ピーフ前期(P)	"	2,295	2,295	1,044	雪	18号	1,044	1,090	1,085	ヨーデルチックス	20号(P)	1,039	1,085	ヨーデルチックス	20号(P)	1,039	1,085	1,034	1,080
"	"	1,020	1,070	1,009	雪	16号	1,009	1,055	1,115	ヨーデルチックス	20号(P)	1,055	1,115	ヨーデルチックス	20号(P)	1,055	1,115	1,034	1,080

組合員勘定の推移 (8 月末)

(借方)				(貸方)				(単位千円)			
項目	前年度(52)実績	本年度(53)実績	対比	計画に対する進捗率	項目	前年度(52)実績	本年度(53)実績	対比	計画に対する進捗率		
50 労賃	38,293,920	42,014,521	109.7%	49.3%	01 生乳	1,700,760,833	1,863,576,696	109.6%	61.7%		
51 肥料費	556,648,625	555,391,617	107.0	104.2	02 補給金	527,517,122	600,555,936	113.9	64.7		
52 生産資材費	264,053,515	314,504,319	119.1	78.5	03 肉用牛	67,961,976	33,951,297	50.0	16.8		
53 飼養費	625,973,851	666,568,460	106.4	71.6	04 乳用牛	58,777,121	65,742,692	111.9	23.1		
54 養畜費	155,558,721	183,255,590	117.8	61.7	05 豚	0	0				
55 資料利息	39,277,329	56,378,465	143.5	28.8	06 その他畜産物	183,920	580,000	315.4	39.7		
56 支払利息	63,348,338	45,489,217	71.8	15.4	畜産収入計	2,355,200,972	2,564,436,621	108.9	57.8		
57 租税公課	141,433,152	193,180,868	136.6	72.0	10 ビート	0	0	0	0		
58 その他経営費	227,041,488	268,275,515	118.2	65.3	11 穀粉、種いち	33,285,278	29,535,800	88.7	5.0		
					13 その他農産物	9,031,720	7,901,010	87.5	22.0		
					農産収入計	42,316,998	37,436,810	88.5	5.7		
					農畜産物計	2,397,517,970	2,601,873,431	108.5	51.0		
経営支出計	2,111,628,939	2,365,058,572	112.0	68.4	合計	3,312,047,231	3,226,917,597	97.4	57.1		
60 家計費	366,448,376	417,961,297	114.1	61.1							
70 資金返済	142,589,449	185,535,284	130.1	53.4	20 農外収入	5,674,158	1,754,186	30.9	40.2		
71 共済掛金	20,285,694	37,307,520	183.9	42.3	21 資金借入	456,213,933	5,300,000	0.1	5.2		
72 農業機械	83,372,071	82,891,021	99.4	52.5	22 資金受入	86,080,934	42,225,442	49.1	33.1		
73 貯金	274,171,519	269,689,024	98.4	62.7	23 その他収入	366,560,236	575,764,538	157.1	178.7		
74 その他支出	721,717,301	445,496,853	61.7	96.7							
合計	3,720,213,349	3,803,939,571	102.3	67.6							

組合員勘定	貸し残		預り残		差引残高
	52年	53年	52年	53年	
組合員勘定	535,515千円	692,480千円	127,349千円	115,458千円	▲408,166千円 ▲577,022千円

*12月末の組合員勘定の貸残は0になるように努力しましょう。



養老牛で開かれた連絡員、調査員合同会議

連絡員調査員会議開く

中標津共済では去る八月三十日 根釧管内の事業概況について、養老牛で、共済連絡員、調査員の 共連根釧出張所岩本家畜係長より 研修会議を開催した。

説明があり、続いて53年度の当組 養老牛荘を会場に開かれたこの 合の引受状況、低事故奨励金など 会議には、多くの連絡員、調査員 が説明され、質疑が行なわれた。

の出席を得て盛会であった。

53年6月現在の過去一年の低事 会議の内容は、まず共済制度と 故奨励金は次の通り

昭和53年度低事故奨励金(乳牛の雌)

(自 昭和52年6月21日～至 昭和53年6月20日)

地区名	加入戸数	加入頭数	平均共済金額	農家負担金	病傷事故			死廃事故		共済金計	奨励金	
					診察回数	延滞回数	病傷共済金	事故数	死廃共済金		戸数	金額
計根別	253	11,759	143,652	66,435,764	8,153	21,477	58,580,150	428	46,561,714	105,141,864	62	4,375,000
中標津	319	12,632	138,590	70,389,512	9,329	20,396	67,806,770	460	56,070,064	123,876,834	93	6,988,000
計	572	24,391	140,829	136,825,276	17,482	41,873	126,386,920	888	102,631,778	229,018,698	155	11,363,000



8月21日～9月21日

- 8月21日 農共連根釧出張所沢 口所長、城戸次長来所。
- 8月22日 職員研修旅行第一班 出発(8月25日まで)
- 新酪畜産センター専門部会 (別海)
- 8月23日 家畜人工授精特別委員会(研修室)
- 廃用畜連合会現地立会認定 (中標津・計根別)
- 8月25日 幹部職員研修会(札幌) (8月26日まで)
- 8月29日 新酪畜産センター建設協議会(別海)
- 職員研修旅行第二班出発(9月1日まで)
- 8月31日 連絡員・調査員合同会議(養老牛) (釧路)
- 9月4日 連合会病傷事故審査 (根室家畜保健衛生所長来所)
- 9月5日 職員研修旅行第三班 出発(9月8日まで)
- 9月6日 中標津町食肉処理加工施設上棟式(中標津共立)
- 9月7日 53年度農業共済功績者地区別選考委員会(釧路)
- 9月8日 家畜人工授精特別委員会(研修室)
- 9月13日 廃用畜連合会現地立会認定(中標津・計根別)
- 北海道獣医師大会(札幌) 9月14日まで)
- 9月15日 北海道総合畜産共進会(月寒)
- 9月18日 第二俣落牛魂碑除幕式(北進)
- 廃用畜連合会現地立会認定 (中標津)
- 9月19日 職員研修旅行第四班 出発(9月22日まで)
- 三菱化成工業KK桜庭農業飼料事業部長ほか来所。



地区別組合長会役員会(釧路)

種別	組合員名	上旬	中旬	下旬	種別	組合員名	上旬	中旬	下旬	種別	組合員名	上旬	中旬	下旬	
バ	三宅忠義	0	0	0	バ	真部 愈	0	1	0	バ	谷村茂夫	1	1	2	
バ	門馬四郎	0	0	0	バ	渡辺利秋	0	0	2	バ	武田三郎	0	0	0	
バ	中塚文夫	0	0	0	バ	田代良司	1	1	1	バ	藤井弘美	0	0	0	
バ	石原竜雄	1	0	2	バ	相沢武雄	1	0	0	バ	北村一仁	0	1	1	
バ	西井 武	0	0	1	バ	太田俊昌	0	0	0	バ	杉本匡視	0	1	0	
バ	土井上信一	0	1	0	バ	古瀬敏弘	0	0	0	バ	佐藤載康	0	0	1	
バ	土井上政雄	0	0	1	バ	小谷盛一	0	0	0	バ	松本幸男	0	0	1	
バ	小沼佐太郎	0	0	1	バ	秋山政雄	0	0	0	バ	飯野一郎	0	0	1	
バ	熊谷 正	1	0	0	バ	斉藤 勉	0	1	0	バ	横田国雄	1	1	1	
バ	山本雪信	0	1	0	バ	広瀬定夫	0	0	0	バ	竹下日吉	1	1	1	
バ	真野米光	1	0	1	バ	半沢勇雄	0	1	1	バ	柳田治郎	0	0	1	
バ	寺島 享	1	0	0	バ	笠原良夫	1	0	0	バ	青木喜三	0	0	1	
バ	佐藤憲治	1	1	1	バ	武田伊三郎	0	0	2	バ	青木重次	1	1	1	
バ	佐藤忠男	1	0	0	バ	後木 章	1	0	0	バ	関又左工門	1	0	0	
バ	佐藤和雄	0	0	1	バ	久保花次郎	1	0	1	バ	横田好一	1	1	2	
バ	塩田専治	0	0	0	バ	新井 真	0	0	0	バ	田島量平	0	0	0	
バ	五十嵐徳治	1	0	1	バ	片野 博	0	0	0						
バ	田中清司	1	1	1	第二俣落地区										
バ	山本秀夫	0	0	0	バ	西村徳守	0	0	0						
バ	安達武蔵	0	0	0	バ	保科 清	0	0	1						
バ	志賀安尾	0	0	0	バ	松岡喜代之助	1	0	1						
バ	志賀正治	0	1	0	バ	田代 昭	1	1	2						
バ	篠永鉄雄	0	0	0	バ	井ノ口定則	1	0	1						
俣落地区					バ	安江八五郎	0	2	1						
バ	原 藤子	0	1	0	バ	鋸持広昭	1	1	0						
コ	大木敏夫	1	1	0	バ	斉藤 別	0	1	1						
コ	小林金司	1	0	1	バ	峰松秀樹	1	0	1						
バ	板橋松寿	0	0	0	バ	山口広幸	0	0	1						
バ	岩井 昇	1	0	0	バ	沖 一美	0	1	0						
バ	服部一好	0	0	1	バ	片岡宅次	0	0	0						
バ	遠藤太一	0	0	0	バ	弾正原正春	0	0	1						
バ	遠藤幸吉	0	0	0	バ	国光 昭	0	0	1						
バ	高橋正三	1	0	1	バ	遠藤直行	0	0	0						
バ	松村晴由	0	0	0	バ	佐伯 証次	1	1	1						
バ	小山美芳	0	0	0	バ	来栖 寛	1	1	0						
バ	本村正春	0	0	0	バ	川村清身	0	0	0						
バ	菅原 清	1	1	0	バ	加藤 繁	0	1	0						
バ	上村弘志	1	1	2	バ	萩原蝶七	0	1	1						
バ	上村重光	1	0	0	バ	星野昇司	1	0	0						
バ	上村 力	1	1	0	バ	星野盛恵	1	2	2						
バ	松本正通	0	0	1	バ	滝本勇雄	0	1	1						
バ	藤原信男	0	0	0	バ	滝ヶ平義明	0	1	0						
バ	遠藤忠義	1	1	1	バ	滝ヶ平 茂	1	0	0						
バ	山下鉄男	0	0	0	バ	滝ヶ平妓夫	0	1	1						
バ	阿部 稔	0	0	0	バ	内山 勲	1	0	0						
バ	上ヶ島国雄	0	1	1	バ	八木原明治郎	1	0	1						
バ	山崎民蔵	0	1	1	バ	中浦健夫	0	0	1						
バ	藤田貞蔵	0	0	1	バ	前原秀隆	0	1	1						
バ	藤田 誠一	0	1	1	バ	町田芳照	0	0	0						
バ	鋸持幸男	0	1	0	バ	房川喜清	1	1	0						
バ	遠藤与畏二	0	0	0	バ	宮脇正治	0	0	0						
バ	宮田 実	0	1	1	バ	滝本信孝	0	0	0						
バ	鷲見 孝	1	0	0	バ	富沢保男	1	2	1						

〇乳出荷を目標に頑張ろう

乳房炎の牛乳は出荷しません
出来ません!!

旬別個乳検査成績 (ランク別戸数)

ランク別旬	0	1	2	3	4	5	合計
上旬	186	123	5	1	0	0	315
中旬	199	109	6	1	0	0	315
下旬	172	121	22	0	0	0	315
合計	557	353	33	2	0	0	945
合格率	58.9	37.4	3.5	0.2	0	0	100.0

地区別個乳合格率

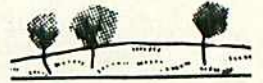
地区旬	当幌	中標津	依橋	開陽	武佐	第二俣落	俣落	平均
上旬	96.7	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	99.7
中旬	100.0	100.0	100.0	100.0	98.2	100.0	100.0	99.7
下旬	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
月平均	98.9	100.0	100.0	100.0	99.4	100.0	100.0	99.8

9月乳質検査成績表

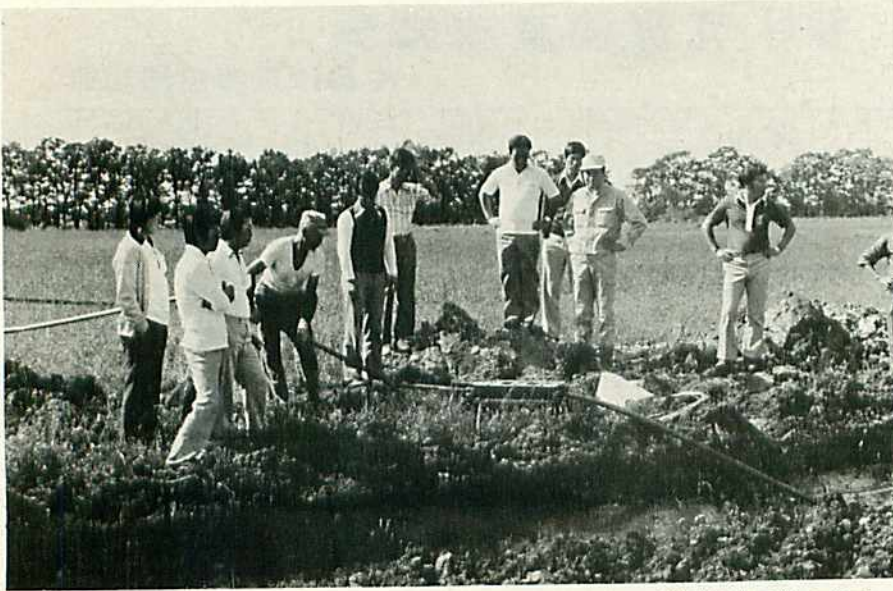
中標津農業協同組合

標別	組合員名			標別	組合員名			標別	組合員名			標別	組合員名						
	上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬				
	当幌地区				高藤祐蔵				国見正雪				佐々木武雄						
バ	飯島光五郎	1	1	1	バ	連田弘	0	0	0	バ	国見実	1	0	0	バ	日下一芳	0	1	0
バ	飯島精一	0	0	0	バ	永谷雄幸	1	1	0	バ	斉藤哲雄	0	0	0	コ	福島広光	1	1	2
バ	奥田勝佳	1	0	0	バ	長繩弘	0	1	0	バ	斉藤栄七	0	0	0	バ	加茂正毅	0	0	1
バ	奥田岩男	0	0	0	バ	麻郷地忠	0	0	0	バ	伊藤七郎	1	0	0	バ	佐々木政行	0	1	2
バ	中山安寿	1	0	0	バ	麻郷地忠勝	1	1	0	バ	千葉清一	0	1	1	バ	三友盛行	0	1	0
バ	山川健三	1	0	1	バ	小針晴信	0	0	0	バ	村井直行	1	0	0	バ	高島貞作	0	0	0
バ	阿部俊勝	0	0	1	バ	花川秀一	1	1	1	バ	山崎正喜	0	0	1	バ	福島信一	0	0	0
バ	鈴木吉三	0	0	1	バ	古沢亀治	0	1	2	バ	後藤田信夫	1	1	0	バ	古田起雄	0	1	0
バ	西垣丈夫	2	0	1	バ	花川稔	0	0	0	バ	齐須安雄	0	0	1	バ	本田萌	1	1	0
バ	小原治	0	0	1	バ	今井秀和	0	0	0	バ	今井靖清	1	0	0	バ	中村敏夫	0	1	0
バ	吉田繁行	0	0	1	バ	東原正広	0	0	1	バ	山田良太郎	1	1	1	バ	真野勇	1	1	1
バ	竹村満夫	0	0	1	バ	岡部実	0	0	2	バ	房川喜延	0	1	0	バ	多田俊夫	1	0	1
バ	高橋常次	1	1	1	バ	渡辺善行	1	0	0	バ	笹淵二郎	1	1	1	バ	小岩正一	0	1	1
バ	筒井留雪	0	0	0	バ	松隈健二	0	0	1	バ	井上亮夫	1	1	2	バ	伏見哲	1	1	1
バ	筒井良秋	0	0	0	コ	小林義忠	0	0	1	バ	笠井剛	1	0	1	バ	中川一平	2	0	2
バ	室井太吉	0	0	0	バ	古瀬イセ	0	0	0	バ	赤堀岩男	1	0	1		武佐地区			
バ	安田康正	0	0	0	バ	藤本久雄	1	2	1	バ	鈴木敏夫	1	1	2	バ	丹羽孝	1	0	1
バ	山田一男	1	1	1	バ	小川清	1	1	0		俵橋地区			バ	丹羽賢一	0	1	0	
バ	松田昌介	1	1	0	バ	佐藤道嘉	1	1	0	バ	名越成夫	1	0	2	バ	亀井泉	0	0	0
バ	舟田正明	0	1	1	バ	佐藤末美	1	1	1	バ	佐藤清	1	0	1	バ	中司哲弥	0	0	0
バ	菊地良	0	0	0	バ	佐藤拡	0	1	0	バ	乾守夫	0	0	0	バ	上原徳保	0	0	0
バ	遠田要三	0	0	1	バ	佐藤永雄	0	0	1	バ	乾洋	1	1	0	バ	工藤正義	1	1	0
バ	西山隆一	1	0	2	バ	佐藤東	0	1	0	バ	伊東武	0	0	0	バ	舟橋清高	1	0	1
バ	長正路正義	0	0	0	バ	望月幸男	0	0	0	バ	大山富雄	1	1	1	バ	酒井清志	0	1	1
バ	大野富夫	0	0	0	バ	白築政博	1	0	0	バ	山下孝二	0	0	1	バ	目黒雅隆	0	1	0
バ	吉成はな子	0	0	0	バ	武田勇	1	2	1	バ	北川栄治	0	0	0	バ	工藤重美	0	0	0
バ	福村守	0	0	0	バ	高橋敏夫	1	1	0	バ	水本正二	0	0	0	コ	児島喜一	1	0	1
バ	遠藤弘成	0	0	0	バ	熊倉彦吉	0	0	0	バ	水本一三	0	0	0	バ	児玉光彦	0	0	0
バ	笠原金吾	3	0	1	バ	小林茂夫	0	0	0	バ	山本正八	0	0	1	バ	坂口亀一	0	3	1
バ	唐崎幸司	0	0	0	バ	阿部正六	0	0	0	バ	榎田英雄	1	1	1	バ	白田稷	0	0	0
	中標津地区				佐藤三男				穴吹貞明				新谷正治						
バ	緩坂欣一	1	2	1	バ	長淵貞義	1	1	0	バ	佐藤きゑ子	1	1	0	バ	井口精一	1	1	1
バ	緩坂恭民	1	0	1		開陽地区			バ	佐々木文作	0	1	1	バ	川上茂	0	0	0	
バ	吉川晴久	1	1	0	バ	土井上昭男	1	1	0	バ	野口忍	0	0	0	バ	長谷川寿	0	0	0
バ	滝場光明	1	1	0	コ	向館金吾	1	1	1	バ	太田功	0	0	0	バ	花尻武雄	1	1	2
バ	久保慶一郎	1	0	1	コ	山田輝男	1	1	1	バ	岡次郎	0	0	0	バ	中条由治	0	0	0
バ	久我良夫	0	0	1	コ	船越政雄	1	0	1	バ	金子安有	1	0	1	バ	中条啓一	0	1	0
バ	正城純一	0	0	0	コ	浅野トミ子	2	1	1	バ	高野国雄	1	0	1	バ	奥村保章	1	1	2
バ	荒昭一	1	1	0	バ	吾妻寅男	1	0	1	バ	中林勇	0	0	0	バ	萱岡信二	0	0	0
バ	桜井誠造	0	0	1	コ	鈴木嵩	1	1	2	バ	工藤隆弘	1	1	1	バ	高橋昌信	0	0	1
バ	佐々木繁雄	0	0	1	バ	桜井精治	0	0	0	バ	赤波江清	0	0	0	バ	中塚秀夫	1	1	0
バ	佐藤信義	1	0	0	バ	高橋寅之助	0	0	0	バ	沢口正志	1	0	0	バ	黒田正夫	1	1	0
コ	奥村武雄	1	1	1	バ	中本栄二	0	1	0	バ	桜井義雄	0	0	1	バ	藤原勝一	0	1	1
コ	阿部忠次郎	1	0	2	バ	丸田良夫	0	1	0	バ	大西秀良	0	0	0	バ	秋山実太	0	0	0
バ	三森章司	0	0	0	バ	鈴木重蔵	1	1	1	バ	大西英明	1	0	0	バ	佐藤春行	0	0	2
バ	川手輝雄	1	1	0	バ	高橋一男	1	0	1	バ	福島昭憲	1	0	0	バ	佐藤一広	0	0	1
バ	下山恵市	0	0	0	バ	高平幸夫	0	0	0	バ	下川原秀子	0	0	0	バ	清原賢一	0	0	0
バ	石崎多門	2	1	0	バ	中本要	0	0	1	バ	三輪貞夫	0	0	0	バ	湯山稔	1	1	1
バ	林仁一郎	1	0	0	バ	半沢利平	1	0	0	バ	西山一義	0	0	0	バ	湯山幸男	0	0	1

＜青年部だより＞



研修視察報告 畑作部会



浅暗渠を見学 (音更)

農協青年部畑作部会(小林茂部会長)は、事業計画に基づいた研修視察を十勝方面で行なった。中札内の南十勝農工連の澱粉工場、芽室のホクレン澱粉工場、黒田農機、東洋農機等を見学、部会員十四名が参加し交友を深めた。

＜婦人部だより＞

北見方面の 研修旅行終了

去る九月四～五日婦人部研修旅行を行いました。参加者は三十二名で、行先は北見方面、宿は温根湯温泉という行程でした。

一日目は端野町のホクレン配送センター・鶏卵ジッピーセンターを見学し、昼食を北見フワワーパラダイスでとり、後はまっすぐ温根湯温泉へ向いました。

宿へ着いてから三浦室長を囲んで話し合いました。主に「お返し物廃止」の話がでていました。次の日はホクレン畜産研修牧場

根室税務署だより

◎ 土地や建物を売ったときの税金

土地や建物を売ったときの利益を譲渡所得といい、この譲渡所得には所得税がかかります。

譲渡所得は、次の算式によって計算します。

譲渡価格(取得費+譲渡費用)

譲渡所得

譲渡した建物や土地が、昭和四十三年以前に取得したものである場合を「長期譲渡所得」、昭和四十四年以降に取得したものである場合を「短期譲渡所得」といい、税金の計算方法が異なり、「短期譲渡所得」は、「長期譲渡所得」よりも税金が高くなります。

を視察する途中、バスの窓から見えるタマネギを買いたいということと、売っている所へより、ほとんどの部員さん方が、一番のお土産だといって買ってきました。

牧場を視察した後、次は網走のオホーツク水族館へ行きました。

視察する所も、見学する所も見終わってしまったので、こんどはバスの中でということと、一人一人指名され歌を歌いながら中標津へと帰ってきました。

なお、収用等により買収された場合や、自分が住んでいた建物を売った場合には、特別控除の特例があります。

ポテト・ハーベスター
(道東式)

部品供給体制整う

道東農機のポテトハーベスターが今年より系統の自主取扱品目に指定された事により、従来とかく不便をかけて居りました部品供給を農協で行う事になり常時営農資材店舗に在庫を持って居りますので利用願います。

